

○変異株のスクリーニングによる変異株発生の早期探知を強化するため、地方衛生研究所において、国立感染症研究所で開発された変異株の疑いを確認するためのPCR検査を実施するよう要請(令和3年2月5日付国通知)

大阪府におけるスクリーニング体制の強化

- 府内においても英国で報告された変異株による新型コロナウイルス感染症が確認されており、発生状況を把握し、いち早く対策に繋げることが非常に重要である。
- 地方衛生研究所に加えて、変異株PCR検査が実施できる民間検査機関等を増やし、スクリーニング体制を強化する。

変異株PCRによるスクリーニング

通常PCR検査で陽性となった検体について、
変異株PCR検査を実施。(N501Y変異の有無)

《実施機関》

地方衛生研究所

民間検査機関

医療機関

実施機関数を拡充

ゲノム解析

変異株PCR検査で陽性となった検体について、
ゲノム解析を実施し、変異株の種類を確定。

《実施機関》

国立感染症研究所

変異株スクリーニングの実績 (3月10日時点)

変異株PCR検査実施件数				陽性件数	
地方衛生研究所	民間検査機関	医療機関	合計	スクリーニング陽性	ゲノム解析確定
174件	113件	96件	383件	85件	62件

※令和3年1月17日～3月8日までの間に陽性となった検体の一部について、変異株スクリーニングを実施。(2月22日に府内初の変異株を確認)
 ※2月の陽性検体3,365件の内、Ct値30以下の検体、変異株陽性者の接触者の検体等計212件に対し、変異株スクリーニングを実施(2月実績6.3%)

更なるスクリーニング強化に向けた対応

- ◆検査可能な病院による変異株スクリーニング体制の更なる拡充
- ◆政令市・中核市を含め、大阪府全体のスクリーニング体制を強化
(変異株に対するスクリーニング検査の実施及び積極的疫学調査の徹底を保健所長に通知済み)